

磨こう！ 世界に誇れる 鳥取の宝を。

山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟してから2年が経過しました。本市では、山陰海岸ジオパークの特徴を活かし、「保護・保全活動」、「教育・調査研究」、「ジオツーリズム」、「産業振興」の4つに関する取り組みを推進しています。4年に1度行われる再審査を通過し、この自然公園が世界に誇れる本市の財産であり続けるため、今後2年間、取り組みにみなさんのご協力をお願いします。

問い合わせ先

第二庁舎鳥取砂丘・ジオパーク推進室

TEL 0857-20-3036

市民の協力のもとで

地域住民が主体となり、地域の地形・地質や自然の保護・保全をすすめていくことが山陰海岸ジオパークの重要な活動となります。

鳥取砂丘では、ボランティア除草や一斉清掃などが実施されています。昨年度の除草ボランティアの参加者は5909人。今年4月に行われた一斉清掃には4000人が集まり、参加者数も年々増えてきています。また、7月には湖山池周辺一斉清掃も実施され、毎年多くの人が汗を流しています。

ジオパークの美しい景観は、みなさんの手で守られています。

より身近な存在に

市内の全小学校を対象に、昨年度から「山陰海岸ジオパーク校外学習支援事業」を実施。山陰海岸ジオパークの貴重な地域資源を活かした現地体験学習を行うための貸切バス代を補助しています。研修場所は、鳥取砂丘、湖山池の

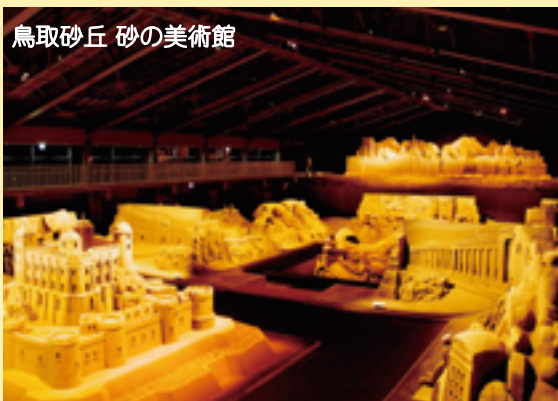
砂の美術館を中心に、山陰海岸ジオパークを活かした観光産業をサポート！

■鳥取砂丘 砂の美術館（福部町湯山 2083-17）

今年4月、世界初となる砂像専門の美術館としてオープン。第5期展示のテーマは「砂で世界旅行・イギリス」とし、砂像16作品が展示されています。9月5日には入館者数が30万人を越えました。

ジオパークとしての見所は、材料の砂が、今から5～10万年前の古砂丘の砂であること。砂には粘土質の成分が多く含まれているため、水だけで固めた繊細な砂の彫刻を実現しています。

※第5期展示は平成25年1月6日（日）まで開催



鳥取砂丘 砂の美術館

■サンドパルとっとり（福部町湯山 2083-17）

今年8月、館内にあるギャラリー流音砂が、「世界ジオパーク展示ギャラリー」として新たにオープンしました。ここでは、世界ジオパークネットワークに加盟している全世界27カ国88地域と、日本ジオパークネットワークに加盟している20地域のジオパークを学ぶことができます。

■鳥取砂丘ジオパークセンター（福部町湯山 2164-661）

平成22年4月オープンし、8月8日に入館者20万人を達成しました。風紋発生風洞装置、火山灰層露頭のほぎ取り標本、クリスタルハイビジョン映像など、多彩なメニューで入館者を楽しませているほか、ジオガイドによる解説や、砂丘ウォークなども開催しています。

■扇の里交流館（国府町上地 346）

平成21年から地元住民の発意によってジオパークの活動に取り組み始めました。今から約1,700万年前は深い海だったといわれる大昔の海底を巡る、「滝巡りコース、渓谷散策コース」、「化石のレプリカづくり体験」などの体験コースを開催しています。

■湖山池情報プラザ（高住 754-17）

平成22年5月オープン。地元公民館、小学校などと連携し、湖山池に関する調査・研究をすすめる、湖山池の成り立ちと歴史、文化についてパネル展示を行い、「石がまコース、湖山池と文学コース」などの体験コースを開催しています。



ほか、浦富海岸におよぶこと
もありません。また、研修内容
は、鳥取砂丘ジオパークセン
ター内での風紋発生風洞装置
による実験や、プレゼンテー
ションによる座学、各ジオサ
イトでの現地散策など、各学
校の創意工夫により行われて
います。

さらに、本市では学校給食
に地域の食材を積極的に取り
入れ、「生きた教材」として
活用した食育推進しており、
10月11日、12日には、世界ジ
オパークネットワーク加盟の
2周年を記念した学校給食
「ジオパーク献立」を、鳥取
地域の小・中学校39校で実施
することが決まりました。

メニューは、「ジオパーク
カレー」、「砂丘らっきょうの
ピリ辛そばろ」、「日本海の幸
のすまし汁」、「梨ようかん」
など、主菜からデザートに至
るまで、山陰海岸ジオパーク
の恵みである地場産物をふん
だんに使用。食を通してジオ
パークを満喫しながら、地域
の自然・食文化・産業につい
て学ぶことができます。

価値をいかに活用するか

これからのジオパークの活
動は、産業振興を図ることが
重要な課題となっています。
山陰海岸ジオパークを関連づ
けたお土産、食事メニューな
ど、観光客はもとより市民の
みなさんが楽しめる商品の開
発が求められています。

また、観光旅行ツアー、教
育旅行ツアーのような旅行商
品の開発も地域経済の発展に
期待されています。本市の取
り組みとして、民間企業や地
域団体による自主的な各種商
品開発の促進を図るための補
助を行っています。

ジオパークの活動とは、今
ここにある地域資源に「ジオ
パーク」という付加価値を加
え、地域の財産へと磨きあげ
る取り組みです。私たちが暮
らす地域に誇りを持った営み
で、このまちの教育振興、産
業振興、観光振興を通して地
域の発展につなげていくこと
を目標に、より一層の取り組
みを推進します。

ジオガイドがジオパークを何倍も面白く！



国府町上地にある夫婦淵で地層
を観察

観光客にジオパークの魅力を伝えるジオガイドは、現在
10団体、約60人(研修中含む)。雨滝、上地、鳥取砂丘、
湖山池、白兔、鹿野、鳥取城のジオサイトで活躍しています。

ジオガイドのスキルアップのため、各ガイド組織による
研修会や、鳥取県内のジオガイド交流会、山陰海岸ジオパ
ークエリア全体のジオガイド交流会を随時開催しています。

その他、鳥取砂丘再生会議では、鳥取砂丘ガイドサポ
ーター、鳥取観光マイスター、鳥取砂丘検定合格者などの条
件を満たした人を対象に「鳥取砂丘大学」を開校し、「鳥取砂
丘ガイド」を養成しています。



鳥取砂丘ジオパークセンターで
風紋発生風洞装置を観察